

栃木県生協連・2010年度7月定例報告

2010年7月12日
 栃木県連 専務 鎌柄

(1) 6月活動日誌

6月1日	火	県連くらし部会、県防災訓練全体会議
6月2日	水	とちぎ消費者ネットワーク幹事会
6月3日	木	宇都宮市職員生協総代会
6月6日	日	NPOサポートネット総会・記念講演会
6月7日	月	栃木県社協災害ボランティアネットワーク会議
6月8日	火	とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
6月9日	水	生活クラブ生協総代会、富士重工生協総代会、働く人の相談センター総会、
6月13日	日	全労済栃木県本部職員研修会
6月17日	木	とちぎコープ生協総代会
6月18日	金	日本生協連総会
6月19日	土	よつ葉生協総代会
6月21日	月	県連福祉事業委員会
6月22日	火	栃木県学校生協総代会
6月23日	水	ふれあいコープ評議委員会・理事会
6月24日	木	栃木県農産物マーケティング協会総会
6月25日	金	栃木県連総会
6月26日	土	2020年ビジョン公開学習会
6月27日	日	栃木保健医療生協総代会
6月29日	火	栃木県職員生協総代会
6月30日	水	県連災害対策交流会

(2) 会員活動の特徴

宇都宮市職員生協 総代会	6月3日(木)	生活クラブ生協総代会 富士重工宇都宮生協 総代会	6月9日(水)
とちぎコープ生協総代会	6月17日(木)	よつ葉生協総代会	6月19日(土)
栃木県学校生協総代会	6月22日(火)	栃木保健医療生協総代会	6月27日(日)
栃木県職員生協総代会	6月29日(火)		

6月ではほぼ会員の総代会が終了した。理事長が交代されたのは、栃木県職員生協、宇都宮市職員生協、とちぎコープ生協、足利工業大学生協などがあり、新専務が就任されたのは栃木県学校生協(非常勤)、とちぎコープ生協(常勤)、よつ葉生協(常勤)、足利工業大学生協(非常勤)などがあった。役員の世界交代も進んできている。09年度経営実績は、昨年総代会時より厳しい会員が多く、2010年度計画の推進が重要性を増している。

よつ葉3生協合併後の初めての総代会や、医療福祉生協連の設立・加入に伴う栃木保健医療生協の日生協脱退などの特徴的な動きがあった。

(3) 県連第41回通常総会

25日栃木県生協連の総会が開催され、新たな議案として第4次中期計画が確認された。議長は全労済の小出代議員が選出された。会員報告では、宇都宮市職員生協の取り組み、よつ葉生協の3生協合併、栃木保健医療生協の組合員増やしの取り組み、社会福祉法人ふれあいコープの特養みどりの取り組みなど、09年度から10年度計画を含め、特徴的な会員活動の報告をいただいた。今回は役員改選期に当たり、6名/19名の役員が交代され、理事4名、監事2名、新任の方が就任された。

総会時の第1回理事会で、竹内会長、高橋副会長、齋藤副会長、鎌柄専務、中田常務、富居常務が互選され、参加者の皆さんに竹内会長から報告がされ、退任された6名（五味渕前副会長、出居前理事、青木前理事、仲根前理事、津野田前監事、島崎前監事）の役員の方の県連運営へのご協力にお礼が述べられ、参加された役員の方からそれぞれ退任の挨拶をいただいた。



(会員報告される宇都宮市職員生協高野代議員)



(退任の挨拶をされた県連役員の方々)

(4) 部会・委員会活動

1日暮らし部会が開催され、10年度の取り組みについての協議と交流がされた。総代会を前に年度最後の部会となった。とちぎコープの4名の理事さん方が交代されることとなった。行政との連携課題である「宇都宮市食育フェア」、「県エコテック」、JAとの関係の「食と農をつなげる会」はじめネットワークの課題など、諸分野の活動にご協力をいただきお礼を申し上げたい。

21日福祉事業委員会が、小山市勤労青少年センターで開催され6会員、4組織、25名の参加があった。小山市の猿山悦子保健福祉部長から小山市の保健福祉の重点施策などについて報告いただき、意見交換がされた。小山市での開催ということもあり、地元の人々からも参加いただいた。

6月30日災害対策交流会が、開催され4会員、7組織、2生協連、20名の参加があった。今年の総合防災訓練が県と宇都宮市共催ということもあり、宇都宮市の危機管理課から「地域防災計画」の報告をいただいた。また、県社協、日赤、日生協からそれぞれ報告をいただいた。今回初めて那須塩原市、日赤栃木県本部からも参加いただくことができた。

(5) 食の安全の取り組み

8日とちぎ食の安全ネットワーク世話人会が開催され、栃木県で公募されているNPO等からの協働事業についての1次の選考時の意見を受けて、補強案が検討された。

17日の選考委員さんへのプレゼンテーション行い、24日付で選定された旨の通知を受けた。29日には、県民文化課主催の説明会が行われ、今後、委託契約を結び実施に移っていくことになる。県との協働の企画推進委員会が重要になってくると思われる。

7月12日のとちぎ食の安全ネットワーク全体会では、「口蹄疫」について学習会を開催することとした。

(6) 消費者課題の取り組み

2日消費者ネットワーク幹事会が開催され、7月7日県くらし安全安心課消費者行政推進室から、県内の市町の消費者行政活性化計画と基金の執行状況について報告をいただき、意見交換を行うこととした。

6日とちぎ消費生活サポートネットの総会が開かれ、創立5周年記念の「朗読劇」と「講演会」が行われた。講演会は消費者庁消費者情報課の川辺課長が講演され、交流の機会ともなった。

(7) 日本生協連2020年ビジョン公開学習会

26日東京で、日生協主催「2020年ビジョン公開学習会」が開催された。芳賀専務から今回をスタートに全国論議を積み上げることと、ビジョンの論点整理が報告された。講演は、西城石井の大久保社長から「今後の流通・小売業の変化と生協の未来像」では社員の教育・評価にも触れ、「挨拶、目先の数字で評価しない、人を育てた人を評価、自分で考え自分で行動できる人、他部門への応援など」生協の考え方と通じるものもあった。立教大学の岩間教授からは「家族の多様化・多民族化と生協の未来」と題して話された。10年後の生協を考える上で新たな視点になったと思われる。

(8) 行政・他団体との連携

7日県社協主催の「災害ボランティアネットワーク会議」が開催され、県内市町の各社協、栃木県域の関係団体が参加された。災害発生時の災害ボランティア対応マニュアルの整備について、日光市社協から報告がされた。また、災害ボランティア相互支援台帳に基づいて参加団体から報告と交流がされた。

(9) 7～9月の課題

1. 7～9月部会・委員会等の活動の推進
2. 第41回通常総会終了後の諸対応
3. 7～9月ネットワーク活動（食の安全ネット2010年度計画、消費者ネット2010年度計画）の推進
4. とちぎ食の安全ネットワークとして、県のNPO等との協働事業の具体化と成功
5. 県連対外広報誌（夏号）の発行

2010年7月6日

会員各位

2010年第1回くらし部会拡大 (環境問題) 学習会のご案内

栃木県生活協同組合連合会
会長理事 竹内 明子
(公 印 省 略)

初夏の候、2010年度1回目のくらし部会拡大学習会のご案内をさせていただきます。総代会後のお忙しい時期ですが、ご参加よろしくお願い致します。

今年10月COP10(生物多様性条約第10回約条国会議)が名古屋で開催されます。生物多様性について話題になる機会が増えています。

今回講師は、宇都宮大学農学部の水谷正一教授にお願い致しました。長年農村の生きもの調査と研究に取り組んで来られた水谷先生から、農村の生きもの調査から見えてくる生物多様性について考える機会として、拡大学習会を開催致します。

役職員含めてお声がけをいただければ幸いです。

1. 開催日時 2010年8月2日(月) 10:00~11:30 予定

2. 開催場所 とちぎアグリプラザ・3階 多目的研修室

(宇都宮市一の沢2-2-13 TEL 028-649-0177)

(作新学院高等学校の西側、旧食品工業指導所の建物です。)

(バス利用の方は、宇都宮駅西口から関東バス作新学院行6番、7番をご利用下さい。)

3. 参加の呼びかけをいただきたい方々

とちぎコープ生協、よつ葉生協、生活クラブ生協の理事の皆さん

各生協の組合員組織の運営関係役員及び担当職員の皆さん

会員で参加を希望される皆さん、その他の方

4. 内 容

拡大学習会

テーマ 仮題 農村の生きもの調査から見えてくる生物多様性について考える。

講 師 宇都宮大学農学部 水谷 正一 教授